

目 次

I	点検評価の基本方針	2
II	第5次総合計画における施策との関係	2
III	点検評価の結果	4
1	幼児教育の充実	4
2	義務教育の充実	7
3	生涯学習の推進	12
4	青少年の健全育成	16
5	スポーツの振興	18
6	芸術・文化の振興	21
IV	教育委員会の運営状況	22

I 点検評価の基本方針

市では現在、新総合計画（仮称）ふるさと龍ヶ崎戦略プランを策定中ですが、平成22年度の龍ヶ崎市の教育行政の主要施策は龍ヶ崎市第5次総合計画に掲げられています。

龍ヶ崎市教育委員会では、龍ヶ崎市第5次総合計画との整合性を図りながら「教育委員会所管事業の点検評価」を行うために、計画に掲げられた教育委員会所管の主な施策を対象とし、龍ヶ崎市教育委員会所管事務における施策ごとの取り組み内容について教育委員会独自の評価を行ってきました。今回の「教育委員会所管事業の点検評価」も昨年度に続き、総合計画に掲げられた教育委員会所管の主な施策を対象として「平成22年度における主な取り組み（事業実績）」を作成し、この取り組み内容について教育委員会独自の評価（自己評価）を行いました。

また、平成23年度に教育委員会所管事業の一部（文化に関すること等）が市長部局に移管されるとともに、市長部局所管の放課後児童対策事業に関する事務が教育委員会に移されるなど、所管事業の変更があったことから、平成23年度以降の評価項目については、これらを反映したものとなる予定です。

II 第5次総合計画における施策との関係

今回の点検・評価に当たっては、龍ヶ崎市第5次総合計画第2章「豊かな心と創造性をはぐくむまちづくり」に掲げた施策のなかで、下記の教育行政分野の6施策における28の「施策の内容」を対象にしました。なお、評価に当たっては、平成22年度における施策の内容（事業実績）を洗い出し、教育委員会で独自に評価を行いました。

施策	施策の内容
1 幼児教育の充実	(1) 保護者の経済的負担の軽減
	(2) 私立幼稚園の振興
	(3) 障がい児就園の促進
	(4) 安全対策の確立
	(5) 子ども読書活動の推進
2 義務教育の充実	(1) 学校教育の充実
	(2) 相談・支援体制の充実
	(3) 情報化・国際化教育の推進
	(4) 魅力ある学校づくり
	(5) 教育施設・設備の充実
	(6) 学校給食の充実
	(7) 安全な学校・地域づくりの推進

3 生涯学習の推進	(1) 施設の機能や設備の充実
	(2) 生涯学習推進体制の充実
	(3) 人材・組織の育成と連携, 活用
4 青少年の健全育成	(1) 青少年の社会参画
	(2) 青少年育成関係機関の連携
	(3) 健全な心の育成
	(4) 相談体制の充実
	(5) 青少年を取り巻く健全な環境づくり
5 スポーツの振興	(1) 総合運動公園の充実
	(2) 競技水準の向上とスポーツ人口の拡大
	(3) 指導者の育成と関係団体との連携
	(4) 流通経済大学との連携促進
	(5) 生涯スポーツの普及
6 芸術・文化の振興	(1) 芸術・文化意識の高揚
	(2) 芸術・文化活動への支援
	(3) 施設の適切な維持管理と整備

Ⅲ 点検評価の結果

1 幼児教育の充実

到達方針

- 保護者の経済的負担の軽減を図ります
- 幼稚園の環境整備・安定的経営への支援を行います
- 地域ぐるみの安全対策を進めます

主な取組（事業実績）

（1）保護者の経済的負担の軽減

私立幼稚園等幼児教育補助金及び私立幼稚園等就園奨励費補助金の交付を通して、保護者の経済的負担を軽減し、私立幼稚園への就園を奨励しました。

●私立幼稚園等就園奨励費補助金＝市内に住所を有し、幼稚園に在園している満3歳から5歳児までの園児の保護者で下記の対象基準に該当する方に交付

①幼稚園・保育園等のみ子どもがいる場合

基 準	補 助 限 度 額 (年額)		
	在園中の 第1子	在園中の 第2子	在園中の 第3子以降
平成21年度市民税（年額）			
生活保護世帯	220,000円	260,000円	299,000円
市民税非課税、または市民税所得割額が課税されない世帯（均等割額のみ課税の世帯）	190,000円	245,000円	299,000円
市民税所得割額が34,500円以下の世帯	106,000円	203,000円	299,000円
市民税所得割額が34,500円を超えて183,000円以下の世帯	43,600円	172,000円	299,000円

②小学校1年生から3年生に在学する兄又は姉がいる場合（保育園等に兄姉がいる場合を含む）

基 準	補 助 限 度 額 (年額)	
	在園中の第2子	在園中の第3子以降
平成22年度 市民税（年額）		
生活保護世帯	240,000円	299,000円
市民税非課税、または市民税所得割額が課税されない世帯（均等割額のみ課税の世帯）	218,000円	299,000円
市民税所得割額が34,500円以下の世帯	155,000円	299,000円

市民税所得割額が34,500円を超えて 183,000円以下の世帯	108,000円	299,000円
--------------------------------------	----------	----------

【平成22年度交付実績】 1,106人／交付総額：107,931,900円

●私立幼稚園等幼児教育補助金＝市内に住所を有し、幼稚園に在園している満3歳から5歳児までの園児の保護者に、園児一人あたり月額2,500円を交付

【平成22年度交付実績】 1,071人 交付総額：31,670,000円

（２）私立幼稚園の振興

園の安定的経営の補助および利用者のニーズに対応する幼児教育環境の充実を目指し、私立幼稚園施設等整備補助金を交付しました。〔補助内容〕各私立幼稚園の備品・教材の購入費用、施設整備費用の総事業費のうち補助率2分の1、上限100万円として補助

【平成22年度交付実績】 市内2園に補助金を交付

①舞台幕交換・暗渠設置工事：787,500円

②園児トイレ改修工事：1,000,000円

（３）障がい児就園の促進

私立幼稚園障がい児保育補助金の交付を通して、障がい児と健常児が平等に幼児教育を受けることのできる環境整備を行いました。〔補助内容〕障がい児を保育する市内の私立幼稚園に、障がい児一人あたり月額1万円を交付

【平成22年度交付実績】 交付幼稚園：3園・23人分／交付総額：2,730,000円

（４）安全対策の確立

教育委員会に不審者情報が寄せられた際には、ただちに各私立幼稚園に情報を伝達するとともに各幼稚園からも不審者情報等の報告を受け、連携を深めながら防犯体制の充実に努めました。また同時に不審者情報連絡網で協力企業団体（郵便局・東京電力など市内8団体）に情報提供することで、地域の見守り体制強化を図りました。

【平成22年度実績】 不審者情報提供件数：20件

（５）子ども読書活動の推進

心身の基盤を形成する家庭教育の重要性に鑑み、言葉や考える力に非常に良い影響があると言われる「ブックスタート事業」を実施しました。ブックスタートとは、子どもの心を育み、親子の絆を深めるとされる絵本の読み聞かせを広める事業です。具体的には保健センターでの3～4か月児健診時に、保護者に絵本・推薦絵本のリストの配布をするとともに、読み聞かせの実演、赤ちゃん会員の入会受付、図書館の利用案内等を行うなど、家庭における絵本の読み聞かせの推進を行いました。

【平成22年度実績】 対象者：629人／配布者数：610人／配布率：97%

※一般的に当市の出生者は年間約700人とされていますが、近年は減少傾向にあります。配布率は、保健センターでの乳児健診者に対するものであり、健診者に対する配布率は概ね100%です。

施策・事業の評価，今後の課題

■教育委員会の自己評価

平成22年度においては、国の補助事業である幼稚園児保護者に交付する「私立幼稚園等就園奨励費補助金」補助単価が、低所得者や多子世帯を中心に増額されたため、保護者の経済的負担をより軽減することができました。

「私立幼稚園等幼児教育補助金」は事業仕分けで、「要改善」の判定となり、今後は、より良い幼児教育の振興に向け、幼稚園や保護者の実態を把握し、補助金交付の方向性を検討することとなりました。

私立幼稚園の環境整備を目的とした「私立幼稚園施設整備等補助金」は、園児トイレの改修工事や舞台幕交換、暗渠設置工事の事業について申請のあった2園に交付し、補助を行いました。これにより保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりに寄与しました。

子ども読書活動に関しては「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第二次）」と「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第二次）行動計画」を策定し、ブックスタートなど子どもの読書推進を、更に進展させて取り組んでいく体制ができました。

2 義務教育の充実

到達方針

- 児童生徒の生きる力を育成します
- 児童生徒との信頼関係を確立し，指導力の向上を目指します
- 児童生徒の健全育成を目指すために，学校・家庭・地域社会の連携を図ります

主な取組（事業実績）

（1）学校教育の充実

●一人一人の「生きる力」を育むために，望ましい生活習慣の確立や心身の健康と保持・増進等を通して「健やかな体」を，規範意識の高揚や他人を思いやる心の育成等を図ることで「豊かな心」を，さらに，基礎的基本的な知識・技能の習得，思考力・判断力・表現力の育成，自ら学ぶ意欲の向上等を通して「確かな学力」を，児童生徒に身に付けさせるよう努めました。

●本市で実施している計画訪問について，本市の場合は指導主事だけでなく，教育委員，教育委員会学務課・指導課職員，市教科指導委員などが訪問に参加し，様々な立場から各校の取り組み状況把握に努めました。また，計画訪問事前の学習指導案検討会，訪問当日の授業参観や研究協議を通して，指導力の向上に努めました。さらに，平成22年度より，指導主事による学力向上訪問を実施し，各校が作成した学校改善プランの進捗状況や改善点等についての実態を把握するとともに，指導助言を行いました。

【平成22年度実績】 計画訪問・学力向上訪問実施校：市内全小中学校19校（各1回ずつ）

●体力向上を目指して平成22年度から「体力向上研修会」を開始しました。各小中学校の体育主任等が参加し，小中学校の体力面での情報交換，課題の共有を図り，体力向上に向けて小中連携した取り組みについて協議しました。

●教職員（非常勤講師を含む）対象の学習指導法研修会等を実施し，指導力の向上に努めました。

【平成22年度実績】 指導課・教育センター主催による研修講座：延べ19講座，参加者総数400名

●学習充実指導非常勤講師やチームティーチング非常勤講師を配置し，個に応じたきめ細かな指導を行いました。

【平成22年度実績】

①学習充実指導非常勤講師：市内全小学校13校に15名配置（大規模校2校には各2名）

②チームティーチング非常勤講師：県費による教員の加配がなかった小学校5校に，2名を配置（1人が3校を掛け持ち）

●学校図書館司書の配置（全小中学校に各1名配置）を継続し，読書活動の充実と調べ学習等への学校図書館の活用を促進しました。

●「龍ヶ崎教育の日推進事業」として，11月5日の教育の日に市内の小中学校，幼稚園，保育所（園）において一般参観を実施し，児童生徒の学校生活の様子を，地域の方などに自由に参観していただきました。参観した皆さんからは「子どもたちの普段の生活の様子が見られて良かった」と

概ね好評でしたが、特に、次年度新入学を控える子の保護者からは、「事前に学校の雰囲気を確認できて良かった」などの意見も聞かれました。

また、12月8日には前年度から開催されている「中・中連携事業」のひとつ「龍の子サミット」が城南中学校体育館で開催され、これに合わせて、青少年育成団体や一般の方に同事業を参観してもらう「龍の子サミット参観」を教育の日推進事業の一環として行いました（約100名参加）。

「龍の子サミット」は、市内6中学校の生徒会で独自に取り組んでいる「あいさつ・声かけ運動」や「地域の清掃活動」などの事例を生徒会役員が紹介し、質問や意見を自由に発表するもので、活発な生徒会活動の報告や自分の意見を堂々と発表する生徒たちの様子が、参観者から高い評価を得ました。

（2）相談・支援体制の充実

●22年度は、こども福祉課・保健センターの協力を得て、龍の子の健全な育成を目指して整備した「教育支援体制システム」の拡充を図りました。

【平成22年度実績】

①学校教育相談員：10件（115回）／解消率：50.0%

②教育相談員：86件（2,955回）／解消率：59.3%

●不登校児童生徒数の減少を目指し、当該児童生徒へのカウンセリング、不登校問題に悩む保護者への支援、学校と連携したサポート会議への参加など、チームによる支援を継続しました。

【平成22年度実績】

①不登校児童生徒数（30日以上欠席）：66人

②不登校児童生徒のうち指導の結果登校できるようになった割合：33.9%

●適応指導教室（夢ひろば）において、社会性や協調性を習得する機会を提供することにより不登校に悩む児童生徒の自立心を育てるとともに、集団生活への適応を図りながら学校生活への復帰を図りました。

【平成22年度実績】

①夢ひろばへの通級者数：11人

②通級者のうち学校生活へ復帰できるようになった割合（部分復帰や進学者を含む）：63.6%

（3）情報化・国際化教育の推進

各小中校では総合的な学習の時間を中心に、各教科等で児童生徒の情報モラル・情報スキル学習を、平成22年度の年間指導計画に位置付けて計画的に行いました。また、外部講師を招聘して、生徒・保護者（学区内の小学校の保護者も含む）を対象に、身近な事例を紹介したり体験活動を導入したりしながら、「携帯電話の使い方」や「情報モラルについての学習会」を開催し、啓発に努めました。

国際化教育の推進においては、国際理解教育の一環として、各校に英語指導助手（AET）を配

置し、英語活動の充実に努めました。AETとの生きた英語のコミュニケーション活動を通して、児童・生徒たちは、言葉や文化の違いに気づく重要な機会を得ています。小学校5・6年生の「外国語活動」では、年間1学級あたり35時間（週に1時間）、AETを配置した授業を実施しました。

【平成22年度実績】 「茨城県ケータイ・ネット安全利用運動フォーラム」（平成22年11月10日・茨城県県民文化センター）愛宕中学校生徒会発表：市内全中学校代表生徒，保護者，中学校教職員，教育センター所長の合計23名参加

（４）魅力ある学校づくり

「子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業」により教職員の指導力向上や学校間・地域との連携に努め、学校の魅力を高めるよう各校で取り組みました。

学校では、各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間等で、専門的な知識や技能を有する地域人材を講師として招聘し、教育効果を高めました。事例としては、地域環境学習の支援、昔の遊びの指導、読み聞かせ等があげられます。

また、中学校区ごとに小学校・中学校の連携を深め、独自性のある教育活動を展開しています。例としては、生徒指導における連携（いじめ等の撲滅キャンペーン）、学習指導における連携等（授業参観・中学校一日体験入学等）があげられます。

【平成22年度実績】 地域人材活用：市内全小中学校で、延べ820名の地域人材を活用

（５）教育施設・設備の充実

学校施設の整備及び老朽箇所の改修等を図り、児童生徒の充実した学習環境づくりに努めました。また、教育内容等の変化に対応するため、学校施設の整備改善を図っています。

【平成22年度実績】

- ①小学校施設：八原小学校トイレ等改修工事 他改修工事等5件
- ②中学校施設：城南中学校防球ネット設置工事 他改修工事1件

（６）学校給食の充実

平成22年度は市内全小中学校で作成した「食に関する全体計画及び指導計画」により、学校栄養教諭が給食の時間等に学校訪問を行いました。訪問では、児童生徒が給食を食べている場面を実際に見て生の声を聞くことにより、メニュー作成の参考にしました。また、ワンポイントアドバイスと称した「食の指導」を行いました。

平成23年4月から給食用牛乳の供給を、ビン装からパック装へと変更するに当たり、容器のリサイクル方法等について全小中学校や関係機関と調整を図り、次年度スタートに向けて態勢作りをしました。

安全面や衛生面では、食器の更新を計画的に実施し、22年度はボール大サイズ（ご飯用）8,200個を入れ替え、より安全性に優れた材質に変更しました。その他の食器については、年次計画で更新していく予定です。

また、市ホームページの給食センターブログ「今日の給食」では、その日のメニューとそれにまつわるコメントを掲載するとともに、「きゅうしょくりレーエッセイ」のコーナーで調理場内の様々なエピソードを紹介したり、「美味しいレシピ」のコーナーで行事食・伝統食や各地の郷土料理のレシピを紹介したりして、ホームページでの情報提供の充実に努めました。

（7）安全な学校・地域づくりの推進

情報提供、地域住民への呼びかけ、関係各機関との協力・連携により、犯罪や危険から子どもたちを守る体制づくりを学校内外で進めました。

●教育委員会に寄せられた不審者情報を市と県教育委員会のホームページに掲載することで広く警戒を促すとともに、不審者情報連絡網で協力団体（郵便局・東京電力など市内8団体）に情報を提供し、見守り体制の強化を図りました。

【平成22年度実績】 情報提供：20件（1「幼児教育の充実」にも記載。5ページ参照）

●毎週月・木曜日の下校時間に、防災無線放送で地域住民に子どもたちの見守りを呼びかけ、地域ぐるみの防犯体制づくりの推進を図りました。

●毎週火・金曜日に教育委員会職員が防犯パトロールカーで市内を巡回し、下校時の安全確保と犯罪抑止に努めました。

●「子どもを守る110番の家」の会との連携・協力を図ることができました。

【平成22年度実績】 研修会参加者数：70名

●各学校防犯ボランティアに「スクールガード養成講習会」開催の周知をし、参加を促しました（会場までの送迎実施）。講習会で行われた、他地域におけるボランティア活動の実践発表は、参加したボランティアの皆さんの防犯意識を高め、子どもたちの見守り充実に寄与しました。

【平成22年度実績】 講習会参加者数：17名

施策・事業の評価、今後の課題

■教育委員会の自己評価

市内19校に対して計画訪問等の訪問指導を行い、各学校の状況・課題を把握し、学校と連携した取り組みを実践することができました。また、各教科・領域で専門性に優れた教科指導員の活用や事前の指導案検討会、当日の教職員との研究協議を行い、児童生徒の実態に応じた指導の在り方について指導助言し、指導法の改善・充実に努めました。さらに、学習充実指導非常勤講師やチームティーチング非常勤講師を配置するなど、きめ細かな指導に向けて必要な施策を継続実施してきたことにより、個に応じた指導の充実が図られてきています。また、施設や設備面においても充実が図られ、教育効果も上がっています。これらの取り組みにより、児童・生徒の確かな学力の育成に繋がっています。体力向上に関しては「体力向上研修会」等を通して、小中連携を図りながら体力アップを図っていきます。今後は、新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた円滑な実施に向けて、教育課程や指導計画について助言し、特に中学校においては、平成24年度の完全実施に備えていきたいと考えます。

「教育支援体制システム」では、毎月「龍の子支援会議」を開催し、各相談員・指導員等の情報を交換・共有するとともに、関係各課の連携を図りながら、子どもたちや保護者、学校の支援にあたりました。特に、入学前の子どもたちに対する支援の重要性を踏まえ、3歳児検診時における保護者対象の研修会について検討を重ねてきました。さらに、教育センターに配置した学校教育相談員は、保護者から学校に寄せられる要望等の相談窓口としての機能を十分に発揮するとともに、先生方の子どもたちに向き合う時間の確保に寄与することができました。

不登校率については、中学生は減少傾向にあるものの、小学生は依然として高い状況にありますので、未然防止に力を注いでいくことが肝要であると考えます。さらに、不登校の状態から学校復帰に至るまでには、多くの時間と親身な関わりが必要となることから、要因や状況を正確に把握するとともに、サポート会議等を通じた継続的な支援を行ってまいります。

学校給食については、リクエスト献立の継続、地域食材の日や郷土料理の日の設定など、年間を通じて充実した内容の給食提供が実現できました。今後も成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため、地産地消に努めながら、安全で栄養バランスの取れたおいしい給食の提供に努めます。

また、栄養士の学校訪問時の様子や、献立の内容・レシピ等をホームページブログに掲載したことにより、給食センターの活動や運営方針が広く保護者や一般市民の方に理解いただけたと認識しています。

「きゅうしょくりレーエッセイ」が、市ホームページのブログアクセスランキングの上位を1年間維持できたことは、これを裏付けることであり、大きな成果と認識しています。保護者・児童生徒への情報提供も食育における重要な部分であることから、今後も更に掲載内容の充実に努めていきたいと考えています。

長年大きな課題となっておりました給食費滞納分の徴収については、「学校給食費事務対応マニュアル」を作成し、これまで主に各校で行ってきた督促事務を統一的に学校と市で行い、滞納者への対策をとることとしました。訪問徴収や年度末の不能欠損を行った結果、前年度までを大きく上回る徴収率となりました。

今後も学校との連携をとりながら、徴収率を上げていけるよう努力したいと考えています。

3 生涯学習の推進

到達方針

- 学習意欲に応じた施設整備に努め、知識を向上させます
- 生涯学習メニューを充実させ、望む分野で生涯学習活動に参加できるようにします
- 多様な学習機会を通して、市民相互の交流を広げます

主な取組（事業実績）

（１）施設の機能や設備の充実

生涯学習活動の核となる地区公民館や図書館などの適切な維持管理に努め、利用者のニーズに対応できるよう機能や設備、運営体制等の充実を図りました。

- 中央図書館のトイレを改修しました。

工事名	内容	着手	工事費
		完了	
中央図書館トイレ 改修工事	1・2階トイレの改修	H22.6.1	1,401,750 円
		H22.6.22	

- 以下の公民館の改修工事を行い、利用者に快適な生涯学習の場の提供を図りました。

工事名	内容	着手	工事費
		完了	
長山地区公民館 外3館	空調機更新工事	H22.12.24	4,882,500 円
		H23.3.8	
松葉地区公民館	調理室改修工事	H22.11.12	871,500 円
		H23.1.17	
八原地区公民館	消防設備修繕 (受信機の交換)	H23.1.19	157,500 円
		H23.2.18	

（２）生涯学習推進体制の充実

公民館講座・教室のほか、図書館や歴史民俗資料館などで行われている生涯学習事業のメニューを充実させ、市民の参加機会の拡大に努めました。

- 教室・講座などの情報を生涯学習推進プログラム（179講座）としてとりまとめ、広報紙及びホ

ホームページへの掲載により情報を提供しました。

●各公民館で地域住民の学習要望や少子高齢化・情報化といった地域住民の要望に応じた86講座(449回)を実施し、受講者1,307人・延べ5,458人の参加を得ました。

【平成22年度実績】

- ① 駒柴公民館：8講座／開催数40回／受講者数156人／延べ621人
- ② 松葉地区公民館：6講座／開催数31回／受講者数100人／延べ456人
- ③ 長戸地区公民館：6講座／開催数31回／受講者数95人／延べ364人
- ④ 大宮地区公民館：8講座／開催数36回／受講者数93人／延べ319人
- ⑤ 北文間地区公民館：4講座／開催数31回／受講者数53人／延べ288人
- ⑥ 長山地区公民館：6講座／開催数31回／受講者数99人／延べ437人
- ⑦ 川原代地区公民館：7講座／開催数42回／受講者数63人／延べ259人
- ⑧ 八原地区公民館：7講座／開催数31回／受講者数125人／延べ379人
- ⑨ 駒馬台地区公民館：5講座／開催数34回／受講者数65人／延べ327人
- ⑩ 龍ヶ崎地区公民館：4講座／開催数29回／受講者数53人／延べ321人
- ⑪ 龍ヶ崎西地区公民館：4講座／開催数32回／受講者数60人／延べ400人
- ⑫ 久保台地区公民館：12講座／開催数32回／受講者数170人／延べ426人
- ⑬ 城ノ内地区公民館：9講座／開催数49回／受講者数175人／延べ861人

●親子でふれあいながら夏休みや冬休みの思い出づくりができる「親子ふれあい教室」を実施しました。

【平成22年度実績】

- ① 親子ふれあい陶芸教室：37人参加
- ② 親子ふれあい押し花教室：12人参加
- ③ 親子ふれあいクリスマスリース作り教室：26人参加

●歴史民俗資料館での企画展示や教育普及事業等により、郷土の歴史と文化に対する市民の知識と理解を深め、文化の振興を図りました。

【平成22年度実績】

①企画展示

ボランティア作品展「布れあい染織展」：3,734人／「鈴木草牛素描画展」：2,931人／テーマ展「エキスポ'85 ②」：5,516人／写真展「昭和30年代の龍ヶ崎…子どもの情景」：3,814人／郷土の芸術家～「郷土作家展」15年の軌跡～：2,728人／郷土作家展「岩崎巴人展」：1,487人／「木村スエヒロ創作折紙展」：1,506人

②教育普及事業

郷土史講演会：2回／古文書講座：20回／歴史散歩：1回／博物館見学会：2回／藁細工教室：7回／篆刻教室：10回／江戸型彫り教室：1回／お手玉作り教室：1回／染色教室：10回／創作折り紙教室：1回／機織り教室：10回／機織り技術習得：週2回／学芸員実習生受入れ：3人

●図書館での資料提供の充実を図るとともに、読書推進のためのイベントを行いました。

【平成22年度実績】

①図書貸出実績

総貸出冊数（団体貸出を除く）：375,746冊／市民一人当たりの貸出冊数：4.7冊

②読書推進活動実績

子ども読書週間イベント：1回・21人／夏休み子どもセミナー：4回・119人／図書館まつり：2日間・入館者2,170人／市民文芸セミナー：2講座・開催回10回・受講者41人／市民文学散歩：2回・60人／おはなし会：19回・227人／こぐまちゃんのおはなし会：10回・280人／たつの子お話タイム：11回・54人／ブックスタート事業：24回・610人／おはなしボランティアフォローアップ研修：2回・29人

（3）人材・組織の育成と連携、活用

多様化するニーズに対応するため、地域における人材や組織の育成と連携、活用を促進しました。

●生涯学習活動の講師・指導者の情報を人材バンク（75人）としてとりまとめるとともに、広報紙・ホームページへの掲載により情報を提供しました。

●多様化するニーズに対応した講座を開催することにより、受講者自らがサークル活動を行うなど教え学び合える土壌作りに寄与しました。

●ブックスタートボランティアや、読み聞かせグループ、個人のお話会への協力により、市民協働の事業を行いました。

（4）公民館のコミュニティセンターへの移行

これまでの生涯学習・社会教育事業に加えて、福祉や安心・安全、健康づくりなど、住民生活に直結した多機能性を持たせ、地域の課題に対応でき得る施設にするために、社会教育法に位置付けられた「公民館」を改め、コミュニティセンターへと移行しました。

合わせて所管課を教育委員会から、市民生活部市民協働課へ移管しました。

【平成22年度実績】

①今後の公民館のあり方についての協議

・庁内関係課で構成する「地域コミュニティ推進会議」での協議を行う。

（企画調整課・総務課・社会福祉課・市民協働課及び中央公民館）

会議：4/27・8/17・9/29・10/6

視察：6/21日立市金沢交流センター，9/22つくば市生涯学習課

協議：6/20（企画調整課・市民協働課・中央公民館）

②移行の際の事務手続き、条例・規則等整理の検討

・移行に必要な国・県への事務手続き等の整理（～平成22年8月）

県生涯学習課との協議：5/20・8/18

文部科学大臣宛の「公立社会教育施設整備費補助金に係る財産処分報告書」を茨城県教育委員会教育長に送達：9/15

県からの連絡を受け修正後再提出：11/19

・これまでに収集した情報をもとに、条例・規則等の廃止及び設置案の策定

条例・施行規則素案作成：9/1～9/8（企画調整課・総務課・市民協働課・中央公民館）

要綱等策定：1/28

地域コミュニティ推進会議：10/6・11/19・12/28・2/8

③コミュニティセンターへの移行に関する課題や問題点を把握

・各地区公民館活動推進協議会役員などとの話し合いの実施

各協議会会長等への説明会：11/13日開催（出席者：協議会関係者・公民館関係者）

・住民自治組織代表者等への説明会

13地区公民館で開催：2/11（川原代・北文間・大宮・長戸），2/13（城ノ内・龍ヶ崎・龍西），
2/19（馴染・松葉・長山），2/20（八原・馴染馬台・久保台）

④教育委員会への経過報告及び協議（随時）

経過報告：平成22年第7回（7月）定例会

協議：平成22年第8回（8月）定例会

コミュニティセンター設置管理条例の同意：平成22年第10回（10月）定例会

※平成22年第4回龍ヶ崎市議会定例会に「龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例」の議案を提出，可決された。これを受け，関連する規則・要綱等の廃止・創設等を行い，平成23年4月1日施行。

施策・事業の評価，今後の課題

■教育委員会の自己評価

公民館や図書館施設の設備を改修するなど，快適な生涯学習の場の提供を図りました。公民館・歴史民俗資料館・図書館などの利用者や各種教室・講座の参加状況も高い数値を維持しており，市民の生涯学習に対するニーズは高いものと考えられます。引き続き，生涯学習推進プログラムによる情報提供により，教室・講座等の学習機会の拡大を図り，生涯学習推進体制の一層の充実を図る必要があります。

中央図書館では，館内改修及び閲覧コーナーのソファの張り替えなど，施設の整備を図るとともに，1階閲覧室に防犯カメラを設置し，快適で安心・安全な利用環境を提供することができるようになりました。

また，図書館のボランティアとして登録・活動している市民を対象に講座を開き，ボランティアの意識・スキルの向上を図ることで，読書活動の推進に努めました。

4 青少年の健全育成

到達方針

- 心豊かで平和を愛する健全な心の育成を図り、自らの力でたくましく社会生活を営める社会環境を構築します
- 青少年が育成団体と連携を図り、青少年が積極的に社会・地域活動に参加できる活気あるまちづくりを目指します

主な取組（事業実績）

（1）青少年の社会参画

地域のボランティア活動への参加など、青少年の社会参画を促進しました。

- 青少年健全育成龍ヶ崎市民会議馴染支部による「花いっぱい運動事業」に参加した馴染小学校児童が、茨城県竜ヶ崎工事事務所前の道路沿い約100mに花の球根を植えました。

【平成22年度実績】 参加者数：5年生123人／植付数：チューリップ球根600個

（2）青少年育成関係機関の連携

青少年育成関係機関の連携強化を図り、より効果的な活動を推進しました。

- 青少年育成団体関係：龍ヶ崎市子ども会育成連合会、青少年育成龍ヶ崎市民会議の事務局として諸事業の推進を図るとともに、青少年育成団体への支援を行いました。

- 青少年センター関係：青少年を非行から守る強調月間（7月）及び全国青少年健全育成強調月（11月）に伴う「あいさつ声かけ運動」キャンペーンを、龍ヶ崎市民会議等の関係団体や龍ヶ崎警察署の協力のもと、市内主要スーパー3ヶ所で実施しました。

【平成22年度実績】 回数：2回／延人数：116人

（3）健全な心の育成

青少年相談員らが自ら街頭に出向いて青少年に声掛けを行うなど、青少年の健全育成を推進し、同時に青少年の非行防止と犯罪に巻き込まれないための指導に努めました。

- 青少年の非行防止と健全育成のため、毎月3回（2班編成・A班14:00～17:00・B班16:00～19:00）、青少年相談員（37人）による市内巡回及び街頭指導を実施しました。

【平成22年度実績】 延回数：62回／延べ人数：186人

（4）相談体制の充実

さまざまなケースに対応可能で、適切な解決が図られる相談体制づくりを進めました。

- 家庭教育相談：多様化する子育てや青少年に係わる家庭教育の悩みなどの解決を図るため、家庭教育指導員が家庭教育相談を行いました。相談実施日程等を広く保護者に周知するとともに、公共施設を利用することで身近な相談機関としての位置を保ちながら、定期的を実施しました。

【平成22年度実績】 相談件数：12件

●青少年相談：青少年の生活や行動に疑問や不安を持っている保護者の皆さんからの相談に応じるため、市青少年センターでの青少年相談員による相談体制の充実と周知に努めました。

（5）青少年を取り巻く健全な環境づくり

青少年が好ましい環境で成長できるよう、学校・家庭・地域の連携を強化して非行・犯罪防止にあたるとともに、青少年がさまざまな情報を適切に判断し、活用できる能力を身につけるための教育を推進しました。

●茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づき、青少年に有害な図書等の一掃を図るため、定期的な巡回及び設置業者への指導を行いました。

●青少年のための健全な環境づくりを目指し、青少年相談員による市内全域を対象とした違法屋外広告物（貼りビラ・捨て看板）の巡視を実施しました。

【平成22年度実績】 4回実施／撤去0

●「家庭のあり方」について、子を持つ親同士のふれあいや各セミナー間の交流を深めながら情報交換を行うとともに、講師を招いて親や家庭の在り方、子どものしつけ、食育などについて学習する場を提供しました。

【平成22年度実績】

セミナー数：19／セミナー参加者数：987人／延実施回数：164回／延べ人数：2,168人／

『家庭教育ブック』説明会：13校・815人

施策・事業の評価，今後の課題

■教育委員会の自己評価

青少年を取り巻く環境は、少子高齢化や高度情報化などが進行する中で、家庭や地域の教育力の低下、大人自身の規範の低下などさまざまな問題が生じております。

青少年育成には、学校・家庭・地域との連携による取り組みが不可欠であり、今後は子ども会育成会や青少年育成市民会議等、青少年関係団体と協力し、さらに市民の皆さんと総ぐるみの活動で、青少年の健全育成を推進していくべきと考えています。

5 スポーツの振興

到達方針

■それぞれのニーズにあったスポーツを誰もが楽しめるような環境作りを進めます。

主な取組（事業実績）

（1）スポーツ施策の推進

龍ケ崎市スポーツ振興基本計画は、市の行政運営上の指針である龍ケ崎市第5次総合計画に位置づけられたスポーツの振興施策の分野別マスタープランとしての役割を担うとともに、「スポーツ健康都市宣言」の理念を実現していくためのアクションプランとしての機能を担っていることから、同計画に掲げる数値目標の達成に向け、各スポーツ施策の推進を図りました。

【平成22年度実績】 龍ケ崎市スポーツ振興基本計画審議会の開催（進行管理の実施）：1回

（2）総合運動公園の充実

平成22年5月に「たつのこスタジアム」がオープンし、「たつのこアリーナ」「たつのこフィールド」とあわせて、総合運動公園も市民のスポーツ・レクリエーション拠点としての機能が整備されました。総合運動公園は、小・中・高校生の各種大会のほか、流通経済大学サッカー部の公式戦をはじめとするハイレベルなものから市民レベルの大会等まで、多種多様なスポーツ・レクリエーション活動の場として利用されています。また、小さなお子さんを抱えるお母さんたちにも安心してスポーツを楽しんでいただけるよう、アリーナ館内では幼児一時預かりサービスを行うなど、ソフト面でのスポーツ環境の充実も図っています。

【平成22年度実績】

- ①龍ケ崎市総合体育館（たつのこアリーナ）：利用人数：201,896人
- ②龍ケ崎市陸上競技場（たつのこフィールド）：利用人数：34,463人（観覧者含む）
- ③龍ケ崎市野球場（たつのこスタジアム）：利用人数：14,263人（観覧者含む）

（3）競技水準の向上とスポーツ人口の拡大

各種大会やイベントを定期的に行い、市民のスポーツ参加機会の提供と気軽にスポーツに親しもうとする意識を高めるなど、スポーツ人口の拡大に努めました。

【平成22年度実績】※（6）の人数含む

- ①各種大会・イベント等事業数：18事業
(前年度比：3事業減。荒天及び震災の影響により開催中止の事業あり)
- ②各種大会・イベント等参加者数：13,181人（前年度比：64人増）

（4）運動部活動の活性化と関係団体との連携

スポーツ指導者バンク登録者の派遣先となる各中学校の意向調査を実施するとともに、個々のニ

ーズに対応すべく体育協会との連携による登録指導者の増加，並びに派遣先の拡大を図りました。

また，スポーツ指導の理論及び技術についての「スポーツ指導者講習会」を開催するなど，市内スポーツ指導者の資質向上に努めました。

【平成22年度実績】

- ①スポーツ指導者バンク登録者数：23人（前年度比：5人増）
- ②スポーツ指導者講習会参加者数：100人（前年度：100人）

（5）流通経済大学との連携促進

流通経済大学サッカー部のホームグラウンドとしてJFL（日本フットボールリーグ）のゲームを14試合，関東大学サッカーリーグのゲームを10試合を，いずれもたつのこフィールドで開催しました。また，流通経済大学陸上競技部の協力を得ながら，たつのこフィールド少年・少女陸上教室を6月から11月にかけて全9回，女性のためのランニングクリニックを1月・2月全5回，それぞれ開催したほか，1月15日には第4回龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会を開催し，さらに10月には，たつのこフィールドを主会場に体力年齢が判断できる健康志向型イベントとして，スポーツを主体とした本市独自の新体力テストを実施しました。

【平成22年度実績】

- ①たつのこフィールドJFLサッカー開催日数：14日（14試合）
- ②たつのこフィールド関東大学サッカーリーグ開催日数：5日（10試合）
- ③たつのこフィールド少年・少女陸上教室 開催日数：9日
- ④女性のためのランニングクリニック 開催日数：5日
- ⑤流通経済大学陸上競技会 開催日数：6日

（6）生涯スポーツの普及

ニュースポーツなどの生涯スポーツの普及のための，年齢・体力・性別を問わず気軽に楽しめる環境づくりに努めました。

【平成22年度参加者（団体）数実績】

- ①ヘルシーボール大会：51人（6チーム）
- ②ペタンク大会：荒天のため中止
- ③グラウンドゴルフ大会：東日本大震災の影響により中止
- ④バウンドテニス教室：33人
- ⑤市民スポーツ・レクリエーションまつり：1,500人
- ⑥市民スポーツフェスティバル（18種目）：4,497人
- ⑦高齢者体力テスト：25人

施策・事業の評価，今後の課題

■教育委員会の自己評価

平成22年度は、健康志向の高まりに比例し多様化する市民ニーズ、余暇時間の増大から、子ども、高齢者及び障がいのある方すべてを含めた、「誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現」に向けた事業を推進しました。

これは、スポーツ健康都市宣言の理念を実現していくためのアクションプランとして策定した、龍ヶ崎市スポーツ振興基本計画に掲げる数値目標である「16歳以上の市民のうち、50%が週一回以上運動やスポーツを行う」ことを目指したものです。

また、市民の念願であった総合運動公園も、野球場（たつのこスタジアム）が完成したことでそのスポーツ環境が整いつつあります。今後も、スポーツ振興施策のさらなる充実が期待されている中、体育協会と協力し、加盟各部が実施する種目別大会である「市民スポーツフェスティバル」の開催をはじめ、健康増進・体力づくりへの関心を高めるためにスポーツ体験等をスタンプラリー方式で行う「市民スポーツ・レクリエーションまつり」、さらに「スポーツ技術講習会」、「スポーツ指導者講習会」などの事業を通して、指導者の資質の向上並びに次世代の活動を担うリーダー的人材の育成に力を入れていきます。

一方、スポーツ施設充実のためのハード事業（施設）では、たつのこアリーナにプールフロアやプールカバー、プール更衣室収納式多目的シートなどを購入したほか、幼児体育施設に大型遊具を購入するなど、安全かつ快適な施設利用環境に向けての整備を進めました。またたつのこフィールドにおいては職員による芝生育成などを行い、施設の維持管理に努めました。さらにたつのこスタジアムにおいては、グラウンドシートや展示ケースなどを購入するとともに、休場期間にグラウンド改修などを行い、施設利用環境の向上に努めました。

こうしたハード事業に加え、スポーツ振興のための事業として、たつのこアリーナにおいてはスポーツ教室事業（エアロビクス・アクアビクス・ヨーガ・マットピラティス・キックボクササイズ・スイミングスクール）などを行うとともに、たつのこフィールドにおいても少年・少女陸上教室や、女性のためのランニングクリニック、たつのこオープンフィールド・たつのこフィールド無料開放デーを実施するなど、市民がスポーツに親しむ機会を提供しました。その環境づくりの一層の充実を図りながら、競技水準の向上とスポーツ人口の拡大に努めています。

今後も将来に向け、本市の新たなスポーツ振興の可能性を探り、本市におけるスポーツのあるべき姿や未来に向けた方向性などを市民とともに共有し、協働の精神を持って取り組むべきスポーツ振興施策の展開を図ります。

6 芸術・文化の振興

到達方針

- 市民の自発的な芸術・文化活動を支援し、自己実現が図られるようにします
- 芸術・文化にふれる機会を提供し、うるおいのある生活が営まれるよう支援します
- 地域の優れた芸術・文化活動を活かして、まちを活性化します

主な取組（事業実績）

（1）芸術・文化意識の高揚

優れた芸術・文化にふれる機会を提供しながら、市民参加型の事業を展開しました。

- 文化会館での芸術・文化事業の実施や、市民の自発的、創造的な文化活動を支援することで、市民文化の向上と発展及び市の芸術・文化の振興を図りました。

【平成22年度実績】

①龍ヶ崎市文化の祭典（平成22年5月19日～5月30日）

展示・ステージ・体験催事11事業を実施。延入場者数：5,757人。

②龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル（平成22年11月3日～11月24日）

展示・ステージ・体験・特別企画・団体参加催事24事業を実施。延入場者数：20,950人。

③文化事業の開催

夏休み映画会など17の事業を開催。延入場者数8,779人／名作映画会Part1「のだめカンタービレ 最終楽章 後編」：114人／爆笑ライブ2010：506人／アグネス・チャン トーク&ライブ：949人／細川たかし&中村美律子ジョイントコンサート：1,271人／夏休み映画会「ドラえもん のび太の人魚大海戦」：786人／ふれ愛広場2010：154人／ぬいぐるみミュージカル「ちびくろさんぼ」：570人／癒し&くつろぎ&ミニコンサート：142人／田畑貞一&ポイントアフター Swing JAZZ Concert：889人／名作映画会 Part2「悪人」：321人／ひとりの演奏会：16人／創造展：1,312人／バンドやろうよ講習会：5人／バックステージツアー2010：51人／龍ぼん祭2010：1,500人／お茶会&お琴演奏会：97人／高齢者いきいき健康マージャン交流大会：96人

（2）芸術・文化活動への支援

- 市公式ホームページ内にある龍ヶ崎市文化協会のホームページを活用し、市民への情報提供を行い、市民の芸術・文化活動を支援しました。
- 市民の芸術・文化活動を行う場や成果を発表する場の提供を行いました。

施策・事業の評価、今後の課題

■教育委員会の自己評価

文化協会と文化振興事業団が連携して文化の祭典や文化芸術フェスティバルを実施しました。芸術・文化関連事業の参加者も増えてきており、市民満足度も上がっていくものと考えます。

IV 教育委員会の運営状況

教育委員会の運営状況については、「教育委員会会議」における議案・報告、協議事項・一般報告事項の内容・件数、研修等への参加、主催事業などのその他の活動について報告します。

■会議開催実績（教育委員会会議における議事、協議事項・報告事項一覧）

平成22年第4回定例会（H 22. 4. 28）

議 事

議案第12号 龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案にする同意について

議案第13号 龍ヶ崎市指定無形文化財の指定について

報告第5号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市教育委員会関係職員の任免その他の人事に対する同意について）

報告第6号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎校務用コンピュータ等運用管理規定について）

協議事項

（1）平成22年度計画訪問の割り振りについて

（2）平成22年度主要施策（事業）の実績及び平成22年度主要施策（事業）について

報告事項

平成22年度全国学力・学習状況調査について

平成22年第5回定例会（H 22. 5. 26）

議 事

議案第14号 龍ヶ崎市学区審議会委員の任用について

議案第15号 龍ヶ崎市奨学生審査会委員の任用について

議案第16号 龍ヶ崎市障がい児就学指導委員会委員の任用について

議案第17号 龍ヶ崎市社会教育委員の任用について

議案第18号 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員の任用について

議案第19号 龍ヶ崎市文化財保護審議会委員の任用について

議案第20号 龍ヶ崎市学校給食センター運営委員会委員の任用について

議案第21号 龍ヶ崎市公民館運営審議会委員の任用について

議案第22号 龍ヶ崎市図書館協議会委員の任用について

報告第7号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市立小中学校適正規模適正配置審議会委員の任用について）

報告第8号 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度龍ヶ崎市一般会計予算に対する同意について）

報告事項

5月受領分の要望等について

平成22年第6回定例会（H 22. 6. 23）

議 事

議案第23号 龍ヶ崎市スポーツ施設嘱託員設置要綱の一部を改正する告示について

協議事項

龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

報告事項

平成22年第2回市議会定例会における一般質問答弁状況について

平成22年第7回定例会（H 22. 7. 28）

議 事

議案第24号 平成23年度使用教科用図書の採択について

議案第25号 龍ヶ崎市社会教育委員の任用について

議案第26号 龍ヶ崎市公民館運営審議会委員の任用について

議案第27号 龍ヶ崎市スポーツ大会出場補助金交付要綱の一部を改正する告示について

報告第9号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市高砂運動広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について）

協議事項

- （1）平成23年度英語指導助手の契約について
- （2）教育委員会所管平成22年度一般会計補正予算について
- （3）教育委員会事務局の組織・機構について

平成22年第8回定例会（H 22. 8. 25）

議 事

議案第28号 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について

議案第29号 龍ヶ崎市障がい児就学指導委員会委員の任用について

報告第10号 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第1号）案に対する同意について）

協議事項

- （1）計画訪問（後期）の日程・出席者について
- （2）公民館からコミュニティセンターへの移行について

報告事項

龍ヶ崎市立小中学校適正規模適正配置審議会の進捗状況について

平成22年第9回定例会（H 22. 9. 28）

議 事

議案第30号 「2010デンタルタウンミーティングin龍ヶ崎」に係る共催名義使用の承認について
報告事項

- (1) 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 龍ヶ崎教育の日推進事業について
- (3) 平成22年第3回市議会定例会における一般質問答弁状況について

平成22年第10回定例会（H22. 10. 27）

議 事

- 選挙第1号 龍ヶ崎市教育委員会委員長の選挙について
選挙第2号 龍ヶ崎市教育委員会委員長職務代理者の指定について
議案第31号 龍ヶ崎市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例案に対する同意について
議案第32号 龍ヶ崎市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例案に対する同意について
議案第33号 平成21年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

協議事項

- (1) 平成22年度龍ヶ崎市一般会計補正予算について
- (2) 教育委員会組織機構について

平成22年11回定例会（H22. 11. 24）

議 事

- 議案第34号 龍ヶ崎市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例に対する同意について
議案第35号 龍ヶ崎市スポーツ振興基本計画審議会委員の任用について
報告第11号 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度龍ヶ崎市一般会計補正予算案に対する同意について）

協議事項

- (1) 平成23年度教育委員会所管一般会計当初予算について
- (2) 平成23年度全国学力学習状況調査への参加について

報告事項

- (1) 「撞舞」の茨城県無形民族文化時指定について
- (2) 龍ヶ崎教育の日推進事業「龍の子サミット2010参観」について
- (3) 龍ヶ崎市立小中学校適正規模適正配置審議会からの答申について

平成22年第12回定例会（H22. 12. 22）

協議事項

- 龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第二次）について

報告事項

- (1) 平成22年第4回市議会定例会における一般質問答弁状況について
- (2) 事業仕分け（教育委員会所管事業）の結果について

平成23年第1回定例会（H 23. 1. 21）

議 事

- 選挙第1号 龍ヶ崎市教育委員会委員長の選挙について
- 選挙第2号 龍ヶ崎市教育委員会委員長職務代理者の指定について
- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（補助執行の協議について）
- 議案第1号 龍ヶ崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規定について
- 議案第2号 事務委任及び補助執行の解除に係る協議に対する同意について
- 議案第3号 補助執行の協議に対する同意について
- 議案第4号 龍ヶ崎市文化会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例に対する同意について
- 議案第5号 龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例間に対する同意について
- 議案第6号 龍ヶ崎市文化会館に係る指定管理者の指定案に対する同意について
- 議案第7号 龍ヶ崎市歴史民俗資料館に係る指定管理者の指定案に対する同意について
- 議案第8号 龍ヶ崎市教育振興基金条例案に対する同意について

報告事項

平成23年度英語指導助手業務委託について

平成23年第2回定例会（H 23. 2. 23）

議 事

- 議案第9号 龍ヶ崎市スポーツ大会出場激励金交付要綱について
- 議案第10号 龍ヶ崎市スポーツ大会出場補助金交付要綱の一部を改正する告示について
- 議案第11号 龍ヶ崎市立学校管理規則の一部を改正する規則について
- 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて（佐藤よし子委員の辞職願に対する同意について）
- 報告第3号 専決処分の承認を求めることについて（平成22年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第4号）に対する同意について）
- 報告第4号 専決処分の承認を求めることについて（平成23年度龍ヶ崎市一般会計予算に対する同意について）

協議事項

教育委員会所管平成23年度予算及び主要事業について

報告事項

- (1) 龍ヶ崎市立小中学校適正規模適正配置に係る答申について
- (2) 龍ヶ崎市読書活動推進計画について
- (3) 和解に係る専決処分について

平成22年第3回定例会（H 23. 3. 23）

議 事

- 議案第12号 龍ヶ崎市公立小中学校さわやか相談員設置要綱の一部を改正する告示について
- 議案第13号 龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第二次）について
- 議案第14号 龍ヶ崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規定の一部を改正する訓令について
- 議案第15号 龍ヶ崎市立公民館管理運営規則を廃止する規則について
- 議案第16号 龍ヶ崎市立公民館嘱託員設置要綱を廃止する告示について
- 報告第5号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する規則の一部を改正する規則について）
- 報告第6号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市教育委員会関係職員の任免その他の人事について）

平成23年第1回臨時会（23. 3. 18）

議 事

- 議案第1号 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について

■会議・研修会・講演会参加実績

- 茨城県都市教育長協議会総会（H 22. 4. 21）：教育長出席
- 茨城県市町村教育長・学校長会議（H 22. 4. 23）：教育長出席
- 茨城県議会文教治安委員会意見交換会（H 22. 5. 13）：教育長ほか1名出席
- 茨城県南教育長連絡協議会総会（H 22. 5. 24）：教育長出席
- 茨城県市町村教育委員会連合会定期総会（H22. 6. 2）：委員長ほか1名出席
- 第1回第8採択地区教科書選定協議会（H 22. 6. 21）：教育長・委員長出席
- 第1回茨城県市町村教育長会議（H 22. 6. 24）：教育長出席
- 第1回管内市町村教育委員会教育長会議（H 22. 7. 12）：教育長ほか1名出席
- 第2回第8採択地区教科書選定協議会（H 22. 7. 13）：教育長・委員長出席
- 茨城県市町村教育長協議会夏期研修会（H22. 8. 4）：教育長出席
- 茨城県南教育長連絡協議会研修会（H22. 10. 20）：教育長出席
- 第2回茨城県市町村教育長会議（H22. 10. 21）：教育長出席
- 第2回管内市町村教育委員会教育長会議（H22. 11. 18）：教育長ほか1名出席
- 教員配置基準説明会（H22. 12. 16）：教育長ほか1名出席

茨城県市町村教育長協議会冬期研修会（H23.2.4）：教育長出席

第3回管内市町村教育委員会教育長会議（H23.3.15）：教育長出席

■その他の参加実績

学校計画訪問（H22.5月～12月）19校実施：5名出席

教育の日推進事業運営（H22.11月）：5名参加

■会議運営の改善について

定例会の会議について、これまで協議事項と報告事項は非公開としてきましたが、教育委員会活動の透明性をいっそう高めることを目的に、22年度からはいずれも公開とすることとしました。